

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第100号

平成31年2月1日

発行

学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ
http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門部
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳フラッシュ

INDEX

- ▼ 学園 …………… 27
- ▼ 大学院・大学短大 1・2・3・4・7
- ▼ 幼児教育専門部 …………… 4
- ▼ 附属女子中・高 …………… 5
- ▼ 取手聖徳女子中高 …………… 5
- ▼ 小学校 …………… 6
- ▼ 幼稚園 …………… 6
- ▼ インフォメーション …………… 8

ジュニア夢カレッジ4 プロから学ぶお仕事体験

聖徳大学生涯学習研究所は、十二月二日(日)にジュニア夢カレッジ4「プロから学ぶお仕事体験」を実施しました。百三十四名の小・中学生が参加し、各々が希望した職業を体験しました。

プロから学べるお仕事体験は全十種類。学内からは「幼稚園教諭・保育士」「養護教諭」「看護師」「図書館司書」「管理栄養士」「新聞記者」、学外からは「鉄道職員」「グラフィックデザイナー」「キャビンアテンダント」「和菓子職人」のプロに協力を得て、プログラムを実施しました。仕事体験の前には、子どもたち向けに「なぜ人は働くのか?」について考えるワークショップを

行い、体験後は一堂に集結し、本学の学生主導で「仕事について」のリフレクシオンを行いました。

この事業は子どもと学生の二方向のキャリア教育を目的としたもので、企画立ち上げから実施当日までの約八カ月間、学生五十六名、生涯学習研究所スタッフ、公募市民「地域サポーター」とが連携しながら進めてきました。本事業の特色は、今回携わったスタッフ(プロ教職員・学生・地域サポーター)のすべてがボランティアとして参加したこと、新成電鉄株式会社、株式会社ディッジ、有限会社八矢庵等、多数の企業からの協力をいただいたことにあります。



幼稚園教諭・保育士体験～ピアノに合わせて合奏してみよう～



鉄道職員体験～線路の落とし物を拾ってみよう!～

この仕事体験を終えて、子どもたちからは「仕事は大変だった」「楽しかった」

「絶対に今日体験した職業に就きたい」「めったに入れない場所に入れてうれしかった」「仕事は自分のためだけでなく、誰かのためになることだと分かった」などの感想が、また保護者からは「貴重な経験をさせていただきありがとうございました」「喜んで帰ってききました」など感謝の声が続々と寄せられました。

今後も、生涯学習研究所では、地学連携や社会参加に結び付く研究・実践を推進していきます。

聖徳大学とSMILE.ECO株がベトナムでの出版事業に関する覚書を締結



覚書を交わす川並弘純学長(左)とSMILE.ECO代表取締役PHAM NGOC TRAM氏

聖徳大学とSMILE.ECO株式会社(ベトナム・ハノイ市)とが、ベトナムの就学前教育の発展・促進における関係強化の一つとして、出版に関し互いに協力

して事業を進めていくことについて合意し、十二月十三日(木)、本学の学長応接室で調印式を執り行いました。この締結は、ベトナムにおいて聖徳の存在を広

めるため、聖徳大学出版会が発行している書籍の出版を同国でスタートさせようというものです。

SMILE.ECOは、女性に幸せをもたらすことを目的に、女性の生活の質向上への貢献と幸せな女性になるための支援を行うべく二〇一八年に設立され、教育・トレーニング分野、高齢者のためのヘルスケア分野、非手術美容ケア分野の三つの事業を展開する会社です。教育分野では、ハノイ最高レベルの住環境を備えた「タイムズシティ」に隣接する「グリーン・パール・パーク」内に収容定員百六十名

(開園後十カ月現在、園児数八十名)の幼稚園、リトル・ビー・プレスクール(Little Bee Preschool)を開園しています。また、二〇二〇年初頭には同パーク内に収容定員四百名規模で第二の幼稚園開園を予定しています。昨年十二月にはSMILE.ECOの幹部七名が来日し、聖徳大学・短大をはじめ、



Little Bee Preschool

附属の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教育や施設設備を視察しました。一昨年のハノイ大学間の学術協定締結、昨年のベトナム教育界の第一人者グエン・フウ・クワン氏との間の覚書締結に続き、保育・幼児教育の分野で高い実績を持つ本学と、保育需要が伸張するベトナムにおいて教育事業を展開するSMILE.ECOとがパートナーシップを結ぶことで、今後ますます現地で質の高い教育活動が普及するとともに、聖徳の教育がグローバル化に向けて大きく前進することが期待されています。

速報! 2019年度公務員採用試験合格実績 (平成31年1月24日現在)

今年も多くの現役生が夢を実現しています

公立小・中・高等学校教員合格者 33名

- 【公立小学校教員】 東京都12名/千葉県千葉市7名/埼玉県3名/茨城県4名/高知県1名
- 【特別支援学校教員】 東京都1名/茨城県1名
- 【養護教諭】 東京都1名/北海道1名/富山県1名
- 【公立小学校・中学校教員】 東京都1名

公立幼稚園教員合格者 6名

東京都 計6名 特別区6名

公立保育士合格者 132名

- 東京都 計58名
中央区4名/港区4名/新宿区3名/文京区2名/台東区2名/墨田区2名/品川区2名/世田谷区3名/渋谷区3名/北区3名/荒川区4名/足立区3名/葛飾区13名/江戸川区8名/江東区1名/狛江市1名
- 千葉県 計43名
千葉市4名/市川市4名/船橋市7名/木更津市1名/松戸市6名/茂原市3名/成田市3名/佐倉市1名/柏市4名/流山市2名/八千代市1名/我孫子市2名/鎌ヶ谷市4名/浦安市1名/白井市1名/多古町1名
- 埼玉県 計14名
さいたま市3名/所沢市1名/上尾市1名/草加市1名/越谷市4名/八潮市2名/三郷市1名/ふじみ野市1名
- 茨城県 計6名 石岡市2名/常総市1名/つくば市1名/阿見町2名
- 福島県 計2名 福島市1名/郡山市1名
- 山形県 計1名 酒田市1名
- 群馬県 計1名 板倉市1名
- 新潟県 計1名 小千谷市1名
- 神奈川県 計4名 横浜市4名
- 長野県 計1名 松本市1名
- 沖縄県 計1名 宮古島市1名

幼稚園教員・保育士一括採用 8名

- 福島県 計2名 白河市1名/古殿町1名
- 茨城県 計2名 つくばみらい市1名/稲敷市1名
- 埼玉県 計1名 加須市1名
- 千葉県 計3名 習志野市3名

その他職種 9名

- 【児童指導員】千葉県1名
- 【栄養士】千葉県船橋市1名/東京都Ⅱ類1名/東京都調布市1名
- 【保健師】東京都特別区Ⅰ類2名/千葉県1名
- 【福祉職】東京都Ⅱ類2名

看護師(国公立病院)

- 国立がん研究センター中央病院2名/国立がん研究センター東病院5名/国立精神・神経医療研究センター1名/筑波大学附属病院2名/東京大学医学研究所附属病院1名/横浜市立大学附属市民総合病院1名/東京都立小児総合医療センター1名/松戸市立総合医療センター1名/虎ノ門病院1名/九段坂病院1名/平塚共済病院1名

千葉県私学教育功労者表彰

第49回千葉県私学教育功労者表彰式が12月8日(土)、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張(千葉市)にて行われ、本学園より3名の教員が、多年にわたる千葉県の私学教育の振興・発展への功労者として表彰を受けました。



聖徳大学附属女子
中学校・高等学校
羽鳥 成美
教諭



聖徳大学
保健センター
加藤 いづみ
教授



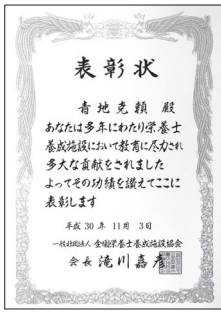
聖徳大学
音楽学部演奏学科
山田 昌宏
准教授

全国栄養士養成施設協会会長表彰

多年にわたり栄養士養成施設において教育に尽力し、多大な貢献をしたことにより、11月3日(土・祝)、一般社団法人全国栄養士養成施設協会会長より表彰を受けました。



聖徳大学
人間栄養学部
青地 克頼
准教授



千葉県インターンシップ推進委員会が主催する、千葉県内の大学生を対象にしたPBL型(Project-Based Learning・課題解決型学習)インターンシップ「千葉限定キャリアインカレ」に本学人間栄養学部三年生の一チームと文学部二年生二チームが参加しました。この企画は、県内の大学に広く周知され、地元を愛する風土や地元企業への就労意識の醸成を狙ったもので、県内企業三社が抱えている課題の解決策を学生が立案し、提案するものです。このたび応募のあった二十三チーム

「千葉限定キャリアインカレ」 決勝大会に3チーム出場 2チームが「企業賞」受賞

書類審査が行われ、一企業二チームずつ計六チームが選出され、本学から三チームが十二月十四日(金)に開催された決勝大会に出場しました。決勝大会はイオンシネマ幕張新都心九番スクリーンにて行われました。他大学の学生や教職員、企業関係者が見守る中での発表に、学生たちは大変緊張している様子でしたが、発表時には堂々とした姿でプレゼンテーションを行っていました。惜しくも優勝は逃しましたが、空港ターミナルサービ



グループの課題に取り組んだ文学部二年生の二チームが、「企業賞」を受賞しました。この決勝大会の様子は、同日夜の千葉テレビ「ニュース千葉」(二十一時三十分)でも放送されました。

【企業課題テーマおよび本学の出場チーム】

■空港ターミナルサービ

株式会社「IT・AIの進化・普及と人々が作り出すサービスのあり方について考えよう！」

◇チーム「futari」

人間栄養学部三年

鈴木祐紀子さん、平川若奈さん

◇チーム「かつべ」

文学部二年

長野菜さん、高橋莉菜さん、奈良原由花さん

■ホテル三日月グループ

『家族で利用したくなる、ホテル三日月とその周辺の環境や施設を活用した旅行企画を考えよう。』

◇チーム「MOGA」

文学部二年

寺門なつみさん、倉田穂乃香さん、関口亜美さん、井上菜緒さん

「ありがとう 香風寮」の会を開催

寮生の皆さん、お帰りなさい

平成三十一年三月三十一日付で休寮となる「聖徳大学香風寮」(松戸市稔台)の食堂を会場として、「ありがとう 香風寮」の会を十二月十六日(日)に開催し、卒業生、在寮生、学園関係者の百八十三名が参加しました。

開会冒頭で挨拶に立った川並弘純学長は「こんにちは、そしてお帰りなさい」と歓迎の言葉を卒業生に送り、寮の歴史を振り返りながら休寮の経緯について話しました。懐かしい寮友や寮関係者と旧交を温め、香風寮伝統の「ウマックス」の登場で会場は盛り上がり、



歓談の様子



香風寮伝統のウマックス

学生寮歌「さがみの丘の」(香風寮バージョン)を全員で合唱しました。最後に寮内見学をし、昔を懐かしみ

ました。一人ひとりが思い出に浸りながら、香風寮へ感謝の気持ちを抱いていました。



年代ごとの記念撮影より

第二十五回 ハッピーホームカミング

二十五周年を迎えて、なつかしの母校に 百七十五名の笑顔が集いました。

第五十四回聖徳祭の初日である十一月十七日(土)午後二時より、大学クリスタルホール三階アミティエにて、第二十五回ハッピーホームカミング(同窓会)を盛大に開催しました。当日は、香和会役員・代議員・一般会員とその家族、学園関係者など百七十五名が参加し、大いににぎわいました。

今年のハッピーホームカミングでは、オープニングで、音楽学部卒業生が電子オルガンの演奏で参加者を迎えました。続いて、川並弘純学長が「お帰りなさい」と挨拶に立ち、



ハワイアンダンスを踊る学生

地元松戸の老舗和菓子屋 栄泉堂岡松謹製の紅白まんじゅうや特製どら焼きも振る舞われました。アトラクションではハワイアンダンス同好会の学生が素敵なダンスを披露。学生のレ



全員で記念撮影

クチャーを受けて皆が一緒に踊り、とても楽しい参加型イベントとなりました。聖徳での青春の日々、学園祭の熱気に触れた、かけがえない宝物の時間を、卒業生たちは過ごしました。

第二回 高校生の体験発表会

第二回「高校生の体験発表会」を十一月二十四日(土)、聖徳大学香順メディアホールで開催しました。今回の発表は、高等学校四十七校と中学校五校の計五十二校から五十五名の発表があり、参加者は約三百五十名でした。校長二十九名、副校長・教頭三十一名に加え、千葉県総合教育センター秋元大輔所長、さわやかちは県民プラザ藤田武所長、船橋市総合教育センター小林英俊所長、千葉県高等学校長協会廣部泰紀会長が出席しました。発表会では学長挨拶、副学長挨拶に続いて秋元所長から挨拶と講評、廣部会長から挨拶があり、参加者への大きなエールとなりました。



発表は合唱スタイルで

この発表会は高校生と中学生が行っている地域貢献事業等の体験学習や授業・部活動等の教育活動について、学力の基礎・基本となる知識・技能をベースに、思考力と判断力を用いてさまざまな検証を行い、表現力を発揮し発表するものです。高校生や中学生の相互理解に役立ち生徒自身の活動に対する認めや新たな発見につながることで、次代を担う若者の学びの糧となることが期待されています。

今回の発表は地域連携やボランティア活動、留学や職場体験、企業見学や商品の管理・開発、地域活性化プラン、地域の調査研究などに特化したものでした。すべてが特色のある内容で興味深く、各学校における基礎・基本の定着を意識した授業に加え、体験学習やグループ学習等による発展的な取り組みの成果も見られた。また、発表方法もプレゼンテーション、演劇、合唱と多種多様で楽しめるものでした。聖徳大学長賞は「幸せの連鎖〜部活と地域のつながり〜」皇居のお濠・千鳥ヶ淵の生態系「私達の街に葉草園を!」薬草園復活プロジェクト「〜」が受賞しました。会場では、本学の児童学科・社会福祉学科・看護学科の学生も運営に参加し、参加者との交流を行いました。

今後も聖徳大学が持つ教育力を高等学校や中学校に積極的に提供し、高校生や中学生が自ら学び新しい考えを生み出す力を身に付けられるような連携事業を企画していきます。大学教育が次代を担う若者を育てる環境をどのように提供できるか、本学の高い教育力や発信力に大きな期待が寄せられています。

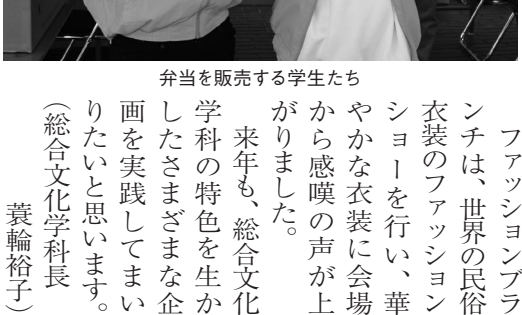


附属女子高等学校の生徒も大健闘しました! 堂々としたプレゼンテーション

イベントで「文化」を発信!

総合文化学科だより

短期大学部総合文化学科では、毎年学園祭「聖徳祭」で各ランチの専門性を生かした取り組みを行ってまいります。今年の聖徳祭は十一月十七日(土)、十八日(日)に開催され、「地域交流プラザ」で地域への貢献活動を紹介したり、ランチの作品を展示したりしました。カフェやファッションショーにも多くのお客さまが来場しました。



弁当を販売する学生たち

千葉興業銀行と連携して開設している「千産千商」コーナーでは、フード調理プランチの学生が企画・開発し、(株)リエイが手掛ける万葉軒とのコラボレーションで「千葉のめぐみ弁当」を販売しました。また、(有)アルガマリーナ(南房総市)と共同開発中の「鯖燻アヒージョ」の試食アンケートを行いました。この製品は、二月三日(日)に開催される「第三回南房総名品づくりグランプリ」に応募することになっています。



ファッションショー

ファッションプランチは、世界の民俗衣装のファッションショーを行い、華やかな衣装に会場から感嘆の声が上がりました。来年も、総合文化学科の特色を生かしたさまざまな企画を実践してまいります。 (総合文化学科長 蓑輪裕子)

語学教育センターだより

英語読み聞かせコンテストを開催

学園祭「聖徳祭」の初日、十一月十七日(土)に語学教育センターで「英語読み聞かせコンテスト」を行いました。例年、さまざまな学部、学科から学生が参加し、多様な工夫を凝らした読み聞かせで楽しませてくれました。

優勝は、児童学部児童学科幼稚園教諭・保育士養成コース二年生の小滝澪里さんの「Take the Snake and Six Boxes」、準優勝は、同学科小学校教員養成コース二年生の岡野真歩さんの「Little One Step」でした。小滝さんは、カラフルな小箱を作り、子どもに話し掛



優勝した小滝さん、一人ひとりが真剣に取り組み姿は素晴らしいかったです。 次回のコンテストでも、たくさんの方が英語の読み聞かせに挑戦してほしいと思います。 (語学教育センター 副センター長 中里菜穂子)

看護学部OB会「ゼンパイトークDAY」を開催

学園祭「聖徳祭」が行われた十一月十七日(土)、十八日(日)に看護学部主催の「ゼンパイトークDAY」を開催しました。この会は、卒業後も大学とつながりをもつてサポートできる体制を構築することを目的に実施されました。卒業生、在学生のほかにも、川並弘純学長、増井三夫副学長、長江曜子香和会長をはじめに九十人を超える参加者を迎えました。第一回となる今回の催しには約二十人の卒業生が参加しました。卒業生たちはこの四月から今日までの日々を振り返り、今取り組んでいること、うれしかったこと、苦しかったことなどを話しました。在学生から「どのように困

難を乗り越えましたか」「国家試験はどう対策しましたか」「就職活動はいつの時期に始めましたか」等多くの質問が寄せられ、自分の経験をもとに丁寧に答えていました。あつという間に過ぎた二時間の交流の中で、在学生は「とても参考になりました」と感謝を述べ、卒業生は「また頑張る気持ちになりました」「元気が充電できました」と力強く語りました。また、なかなか会えない卒業生同士の交流として話に花を咲かせていました。最後に全員で手をつなぎ輪となって「365日の紙飛行機」を歌いました。その後、水戸美津子看護学部長が「他の人との距離を争うのではなく、夢に向かってどう飛んだのが大切ですか」と話し、看護学部と卒業生との絆の第一歩を築くことができました。この会を通して、教員も卒業生の成長に安堵し、教育の手ごたえを感じ取っていました。



●●聖徳大学×新京成電鉄●● クリスマスチャリティーコンサート

聖徳大学と新京成電鉄株式会社とのコラボレーションによる「クリスマスチャリティーコンサート」を十二月八日(土)、新京成電鉄の新津田沼駅前イトーヨーカドー一階特設ステージで開催しました。

出演は、大学院音楽文化研究科修士生の真野綾子さん、吉田薫さん、同在学生の田村紗梨緒さん、西村祐美子さん、同研究生の森嶋奏帆さん(ピアノ伴奏)による「聖徳女声アンサンブル」曲は、「イーゴリ公」より「ダッタン人の踊り」、「ボーカー風アレンジ」、「フィガロの結婚」より「序曲」(スキヤット風アレンジ)、「恋とはどんな

ものかしら」などオペラの名曲をボーカル風にアレンジしたものや、クラシックから「アヴェ・マリア」、「ミュージカル『オペラ座の怪人』より「スイング・オブ・ミー」クリスマススムードを盛り上げる「クリスマス・キャロル・メドレー」等をソロやアンサンブルで演奏しました。

会場には子どもからお年寄りまで幅広い年齢の方々が集まり、熱心に聴いていました。エンディングでは、新京成電鉄のマスコットキャラクター「しんちゃん・けいちゃん」が登場し、出演者全員で「新京成で出発だ」を歌うなど、楽しいコンサートとなりました。



聖徳女声アンサンブル

当日はチャリティー募金も同時に行い、三万六千八百四円が集まりました。この募金は新京成電鉄を通じて「NHK歳末助け合い

平成三十年度 聖徳大学消防・防災総合訓練

松戸キャンパスでは、災害時に短時間で安全に避難することができるよう、毎年聖徳大学消防・防災総合訓練を全学的に実施しています。

本年度は十一月三十日(金)、十一時五十五分に大規模地震が発生した想定で行いました。学内に非常放送が流れ、学生や教職員、附属幼稚園の園児、その他関係者が、ハンカチで口を押さえながら所定の避難場所へ避難しました。その後全員が常日頃



初期消火の際は大声で周囲にお知らせ!

から携帯している「安否確認シート」を回収し、二千二百七十七名が避難完了したことが確認されました。避難完了後、松戸中央消防署消防指令補の矢田氏より「学生や教職員が真剣に訓練しており、素晴らしい訓練であった。今後も自分の身は自分で守るといった認識を持つてほしい」との話がありました。

続いて増井三夫災害対策副本部長が、自身のドイツでの火事の体験を振り返って、「避難誘導の指示がなかったため自分で最善の避難方法を判断し、家族全員を守った。最善の判断をするためには訓練を重ねることが重要」と話しました。

その後、教職員および有志の学生が、訓練用消火器で消火訓練を行いました。

消防署の方から「初期消火にあたって、まずは大声で周囲に火事を知らせることが重要。そうすることで、消防署に連絡をしてくれる人や消火器を持って駆けつけてくれる人がいる」と説明がありました。

今後も、日常生活を送る上で気を緩めずに安全への意識を持ち続けることが重要だと感じる訓練となりました。



松戸中央消防署消防指令補の矢田氏

幼児教育専門学校

第六十二回 グループ研究発表会

十二月九日(日)、第六十二回グループ研究発表会を行いました。

グループ研究発表会は、本校の一部二年生、二年三年生と、短期大学部保育科の二部三年生がクラスごとに希望の研究領域のグループに分かれ、担当教員の指導のもと研究した成果を発表する場です。来賓の大学、短大教員、各指導教員、幼稚園教員、そして在学生が見学者となり、第一分科会から第三分科会の各会場で、全十二グループの発表が行われました。

発表を行った学生たちは、この一年間、仲間とともに指導の先生のアドバイスを仰ぎながら、一つの研究課題に熱心に取り組み、何度も討議を重ねてきました。グループ研究発表会は、その成果を発表する、とても貴重な経験となりました。



今年度は、各会場の司会を、本校二部二年生が担当しました。これは初めての試みでしたが、会を運営する上で中心的役割を果たすことができました。また昨年度同様、休憩時間に見学者が他の分科会場へ移動し、見学先を変更できるようにしたことにより、興味あるテーマを掘り下げ、考察を深めることができました。発表者側、見学者側ともに新たな知識や技術を得ることができ、有意義な一日となりました。

一年間熱心に学生指導にあたった担当教員をはじめ、本活動の調査アンケート協力者に対して、グループ研究発表会の成功を収めることのできる感謝の気持ちを示すことができました。



見ると側からは、どうして順位に目がいきがちになりますが、「自分のペースで長く走ることを目指す」「毎日続けて体力アップを目指す」「レースに出て記録更新を目指す」などそれぞれに価値があります。走ることを通して、「健やかに生きる」という言葉が、皆で考えるきっかけを与えられたマラソン大会となりました。

附属小学校

健やかに生きる マラソン大会を終えて

十一月二十七日(火)、「校内マラソン大会」を実施しました。一年生にとって初めての持久走であり、六年生にとっては小学校最後の大会です。児童一人ひとりにそれぞれの思いがあったことでしょう。

保護者の方々も大勢応援に来てくれました。「頑張っ

とでもうれしそうでした。そのような心温まる触れ合いが、一人ひとりの走りパワーを与えてくれたようでした。

ある児童が、苦しさに顔をしかめながらも「最後まであきらめない」という強い意志でゴールまで走り切りました。皆からたくさん拍手をもらい、もしかしら、恥ずかしかったかも



走らねえ。しかし、恥ずかしくても最後まで走った姿に、惜しめない拍手が送られる。走り通せば立派なんだ」ということを、その児童から教えられました。

見る側からは、どうして順位に目がいきがちになりますが、「自分のペースで長く走ることを目指す」「毎日続けて体力アップを目指す」「レースに出て記録更新を目指す」などそれぞれに価値があります。走ることを通して、「健やかに生きる」という言葉が、皆で考えるきっかけを与えられたマラソン大会となりました。

附属女子中学校・高等学校

小笠原敬承斎先生の特別授業



小笠原敬承斎先生

十一月六日(火)に高校三年生を対象に小笠原流礼法御宗家小笠原敬承斎先生が授業を行いました。

受講している生徒の中には、小笠原流礼法を附属小学校から十二年間学ん

る生徒もいて、何度も御宗家の授業を受けてはいます。御宗家から直接お話を聞けるのがこれが最後という気持ちで授業に臨んでいました。

授業では、これから本校を離れ、各自さまざまな進路に向かう生徒に対して、これまで学んできた小笠原流礼法の基本を復習しながら、社会人として大切な心得についての話がありました。具体的には、国際社会

における日本文化の大切さ、作法の理由、第一印象の大きなポイントになる身だしなみや服装について「見えない所に心を尽くす」という日本のもてなしの心構えなどでした。生徒の感想文には「現代社会ではマナーやモラルの低下が叫ばれている。そのような中で、この授業の内容がとても大切になってくると改めて感じました」と記されていました。

数理科科学コンクールで「銀棒賞」受賞



数理科科学コンクールで「銀棒賞」を受賞しました。

本校の参加は毎年恒例となっており、十二回目の参加となる今年度は中高三チームが参加しました。その中で、中学三年生の安藤瑠那さん、宇田川聖佳さん、小川優香里さんチームは、

科学技術の先端を担う若者を発掘し育成するための一助として、千葉大学先進科学センター主催「第二十一回数理科科学コンクール」が昨年七月二十二日(日)に千葉大学で開催され、十一月三日(土)祝、表彰式・課題解説が行われました。

課題は出題者の周りにある基本的な問題や最先端の問題、さらには歴史的に興味のある問題を元にして作成され、四題出題されます。参加者は興味のある課題に六時間かけて取り組み、実験や観察などを行い、なぜそうなるのか数理的な考察を行います。

科学的な心を磨き続け、独創性に満ちたアイデアで科学の発展に貢献することが期待されます。

撮影に参加した明和会長(日)に行われました。放送部が考えたシナリオをもとに演劇研究部が演技し、明和会は小道具の準備や照明を担当。慣れない撮影に、一分前後のショート作品を五本撮るのに丸一日を費やしました。各話のラストシーンでは放送部や明和会もエキストラ出演し、皆で「選挙に行こう!」と叫んでいます。明るくほっこりとした作品となりました。

取手聖徳女子中学校・高等学校

第五学年修学旅行



十一月十二日(月)から十七日(土)まで、第五学年(高二)は附属女子高校と合同で九州へ修学旅行に

行ってきました。天候に恵まれた思い出に残る旅行になりました。学年目標は「笑顔」。そして「全員参加」全員で六日間を通して「和を深める」ことでした。参加者全員の協力があり、元気で笑顔の絶えない六日間となりました。

修学旅行が、集団で行動する高校生活の集大成であることを全員が理解し、各自が自分の役割を確実にこなして生徒が中心になって進んで行動したことで、一人ひとりが大きく成長できました。三日目に訪れた平和公園そして長崎原爆資料館では、歴史的事実に触れ、神妙な面持ちでじっくりと見入っていました。

選挙に行こう!

選挙啓発動画を制作

「女性キャリア」の授業では毎年、取手市選挙管理委員会との協力のもと、六年生(高三)を対象に主権者教育を行っています。その縁で今回、取手市から若者に投票を呼び掛ける「選挙啓発動画」の制作に協力してほしいとの依頼を受けました。そこで、放送部、演劇研究部、明和会(生徒会)に声を掛け、準備を進めてきました。

撮影は昨年十月二十八日

生徒たちの心に「平和」という言葉が真に刻み込まれている様子が見受けられました。四日目の夜には、附属両校の代表生徒がメール交換を行い親睦を深め合い、「双子校」としての絆をより強めることができました。

生徒たちは、多くの方々と出会い、数々の温かく細やかな心遣いを受け、改め

て相手方を思いやることの大切さを学びました。また、修学旅行先で体験した一流のおもてなしや、さまざまな経験を通して、これからの自分にとって、何が必要で何が大切であるかを実感したことでしよう。修学旅行を終え、大人の女性への第一歩を踏み出した生徒たちの今後の成長に期待します。

撮影の様子はこちらのページや広報誌で紹介させていただきます。ぜひ一度ご覧ください。



撮影の様子はこちらのページや広報誌で紹介させていただきます。ぜひ一度ご覧ください。

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

一日入園 新入園児を迎えて

四月から幼稚園に入る子どもたちを招待して毎年二月に「一日入園」を行っています(今年度は二月十五日(金)に行われます)。

一日入園当日は、年長組の子どもたち一人ひとりが、新入園児の迎え入れ、会の進行、案内、お土産渡し等の係に就き新入園児を迎えます。受付ではプログラムを渡したり、靴をはきかえた小さなお友達を会場へ案内したりします。恥ずかしがって保護者の陰に隠れてしまう新入園児に一所懸命声を掛け、優しく手を引いています。



会場では年長組の代表者が新入園児と一緒に手遊びをした後、年長児はサカホーと合奏、年中児は園歌と楽器遊び、年少児は遊戯を披露します。それぞれ年齢に応じた発表をし、学年の差を見せています。その後

は年長児と新入園児がペアになりフォークダンスをします。お兄さんお姉さんと踊れてうれしそうなお子ともいれば、なかなか保護者と離れられずに保護者と一緒に踊る子どももいたりさまざまですが、年長児が小さなお友達への目線に合わせて話しかけ、優しく手をとって、一所懸命関わっている様子が見られます。先生たちによる劇を見た後にお土産(今回は「糸電話」です)を受け取り、会は終了します。

新入園児にとっては四月から幼稚園へ通うことへの期待、在園児にとっては進級することや、新入園児を迎え入れることへの期待が高まる一日となります。この行事を通して、さらに小さなお友達を迎え入れるための思いやりの気持ちを大切にしていきます。

表現遊び

聖徳学園八王子中央幼稚園

本園では毎年二月初旬頃に「表現遊び」を行います。最初は歌です。園児たちは情景を思い浮かべながら楽しんで童謡を歌います。

次は各学年によるお遊戯です。週三回登園の二歳児ちゅうりっぷ組は初めての舞台発表のため、たくさんのお客さまを見て驚いてしまう姿も見られますが、ひとたび衣装に身を包んで登場すると「かわいい」という歓声とともに会場を沸かせます。

満三歳児ひまわり組と三歳児桜組は絵本のお話をもとに役ごとに登場して踊り



一年の集大成ともいえる表現遊びは、子どもたちの成長を保護者が感じることで、とても素敵な行事となっています。

聖徳学園多摩中央幼稚園

グループでの当番活動

年長組になると、グループ活動が始まります。給食当番や、各クラスのごみが正しく分別できていないか、水が出しっぱなしではないか、使っていない保育室の電気がつけっぱなしになっていないか等を確認する、各クラスの見まわり隊をグループに分かれて行っています。

毎朝登園すると、今日の自分のグループが何の当番なのか当番表を確認し、友達同士で「今日は給食当番だね」「今日は園庭の見まわりだね」と話し合っている姿が見られます。園庭では片付けが済んで全員室内に戻っても当番の園児が最後まで残り、固定遊具や砂場

聖徳大学附属成田幼稚園

先生！おいしいもおいしいよ！

十一月五日(月)に年長児松組は、日本航空(JAL)と農業ビジネスを手がける和郷が共同で設立した新会社「JALアグリポート」の第一回のイベント「サツマイモ初収穫イベント」に参加し、「紅はるか」というサツマイモを掘ってきました。紅はるかとは三週間ほど熟成させてから食べると甘くなる品種です。園で熟成させ、十二月三日(月)にJALや千葉県庁学事課の方々を招き、幼稚園で蒸かして食べました。



朝から園庭に燻炭煙突やかまどが並び「先生、何やるの？」と園児たちは興味津々。みんなでテラスに集まり、サツマイモの成長を大型絵本で見ました。その後、燻炭煙突での焼き芋作りを見て、蒸籠を使ってサツマイモを蒸かしました。もみ殻や燻炭に実際に触れられるよう置いておく「もみ殻はカサカサする」「燻炭は砂みたいだね」と感触の違いに驚いていました。

かまどの近くには園児たちが集まり「いい匂いがする」「もう出来た？」と待ちきれない様子でした。サツマイモが蒸か上がり、蒸籠のふたから白い煙がもくもくと上がると、大きな歓声が上がりました。各保育室に戻り、手を洗ってサツマイモを食べました。「あまい」「おいしい」。紅はるかの甘みに園児のみでなくJALや県職員の方々も驚いていました。

スーパーやコンビニが充実し何でも手に入る時代に、サツマイモを掘り、洗い、目の前で調理した体験は、園児たちの心を成長させることでしょうか。今後もさまざまな体験を通して、心と体の成長を促していきます。

はじめに「むしむしじゃんけん」(ダンゴムシ・グー、クワガタ・チョキ、チョウ・チョ・パー)を親子で張り切って行いました。次に二人組で「お餅つき」。つく方とこねる方に分かれテンポ良く両手でリズムをとって歌いながら楽しく遊んだ後

は、五本指を使った「いもむし家族」の遊びをしました。指がスムーズに出せない、親子で顔を見合わせ、おもわず顔がほころび、うれしそうに何回もやってみていました。

この企画は、四月から「せいとくの子」に仲間入りする新入園児とその保護者が幼稚園に来る機会を設け、入園の準備をすることをねらいとしています。「いつもここに元気な子ども」で入園式を迎えられるよう、教職員一丸となり準備を進めてまいります。

十二月十二日(水)、来年度入園する子どもを迎える「ミニクリスマス会」を行いました。遊戯室の入口でたくさん並ぶクリスマス帽子のウエイトレス。「このお皿にはまだ給食がのっていないからここから持っていくかない?」「ご飯がお皿にのっていないのは、あと一つだね」「これは先生の方です」等声を掛け教え合いながら協力し、張り切って当番活動を行っています。

当番活動を通して、同じグループの友達同士で声を掛け、助け合い協力することや、グループの一員としての責任感が身に付いてきています。

動物に扮した先生たちと一緒に歌ったり、手遊びをしたり楽しい時間を過ごしました。うれしい気持ちで体をたくさん動かし、前に出てきてしまう子どももいました。

動物さんと一緒に手遊び

私の雪だるま帽子

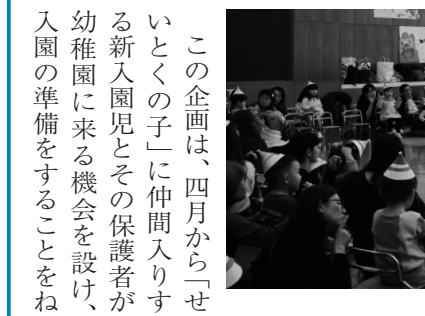
十二月十二日(水)、「SEITOKU オープンキッズワールド」大学の先生と歌って遊ぼう

森岡先生



十二月十二日(水)、「SEITOKU オープンキッズワールド」大学の先生と歌って遊ぼう

動物に扮した先生たちと一緒に歌ったり、手遊びをしたり楽しい時間を過ごしました。うれしい気持ちで体をたくさん動かし、前に出てきてしまう子どももいました。



十二月十二日(水)、「SEITOKU オープンキッズワールド」大学の先生と歌って遊ぼう

森岡先生

アルバム完成・園児たちへの配付は六月の予定です。その頃には、みんな小学校生活に慣れ楽しく過ごしていることでしょう。小学校入学に向けて高まる期待を胸に、先生や友達と残りの幼稚園生活を楽しく過ごせるよう見守っていきます。

十二月十二日(水)、来年度入園する子どもを迎える「ミニクリスマス会」を行いました。遊戯室の入口でたくさん並ぶクリスマス帽子のウエイトレス。「このお皿にはまだ給食がのっていないからここから持っていくかない?」「ご飯がお皿にのっていないのは、あと一つだね」「これは先生の方です」等声を掛け教え合いながら協力し、張り切って当番活動を行っています。

動物に扮した先生たちと一緒に歌ったり、手遊びをしたり楽しい時間を過ごしました。うれしい気持ちで体をたくさん動かし、前に出てきてしまう子どももいました。

動物さんと一緒に手遊び

私の雪だるま帽子

十二月十二日(水)、「SEITOKU オープンキッズワールド」大学の先生と歌って遊ぼう

森岡先生

アルバム完成・園児たちへの配付は六月の予定です。その頃には、みんな小学校生活に慣れ楽しく過ごしていることでしょう。小学校入学に向けて高まる期待を胸に、先生や友達と残りの幼稚園生活を楽しく過ごせるよう見守っていきます。

聖徳大学附属幼稚園

みんなで楽しいクリスマス ミニクリスマス会

十二月十二日(水)、「SEITOKU オープンキッズワールド」大学の先生と歌って遊ぼう

森岡先生

アルバム完成・園児たちへの配付は六月の予定です。その頃には、みんな小学校生活に慣れ楽しく過ごしていることでしょう。小学校入学に向けて高まる期待を胸に、先生や友達と残りの幼稚園生活を楽しく過ごせるよう見守っていきます。

卒園アルバム 写真撮影

十二月五日(水)に五歳児松組が卒園記念として制作するアルバム写真撮影を行いました。朝からソワソワしている五歳児のクラスをのぞくと「いいお顔で撮ろうね」「なんだか緊張しちゃう」と友達と声を交わし、楽しみにしながらも落ち着かない様子が見られました。

学園創立八十五周年・川並香順先生生誕百二十年記念「聖徳教育學術振興募金」寄付者芳名一覽

ご協力ありがとうございます

平成三十年十一月から十二月までのご寄付分

- 取引業者関係 五〇〇,〇〇〇円
株式会社ソアプランナーオブジャパン
代表取締役 荷口 優 様
法人役員関係 三〇〇,〇〇〇円
川並 弘純 様(六四〇,〇〇〇円)
池田 清英 様
小川 敬治 様
小林 敬治 様
大学後援会関係 三〇〇,〇〇〇円
鈴木 義行 様 羽賀 真理 様
鈴木 幸利 様 大杉 和枝 様
浦田 幸利 様 田中 勝元 様
高橋 誠治 様 本田 美穂 様
附属女子中学校・高等学校関係 一〇〇,〇〇〇円
川和 利行 様 林 憲民 様
小川 一 様
米倉 謙一 様
石井 秀明 様
取手聖徳女子中学校・高等学校関係 五〇〇,〇〇〇円
河合 宏 様
高橋浩一郎 様 本田 美穂 様
寺田 茂夫 様
附属小学校関係 一〇〇,〇〇〇円
高田 丈 様
石川 嘉菜 様 高橋 泰寿 様
中村 知久 様 劉 健鋒 様
田中 哲 様 深沢 雄一 様
附属幼稚園関係 一〇〇,〇〇〇円
靑島 靖裕 様
附属浦安幼稚園関係 一〇〇,〇〇〇円
靑山 裕也 様
三田幼稚園関係 一〇〇,〇〇〇円
角川 春樹 様 福田 佳代 様
村上 尚己 様
小野寺 二見 様

- 同窓会連合会関係 二〇〇,〇〇〇円
聖徳大学幼児教育専門学校同窓会 ひじり会 様
聖徳大学附属小学校同窓会 秋和会 様
聖徳学園三田幼稚園同窓会 なごみ会 様
聖徳学園多摩中央幼稚園同窓会 和香竹会 様
教職員関係 一〇〇,〇〇〇円
川並 孝純 様(二〇〇,〇〇〇円)
川並 珠緒 様(二〇〇,〇〇〇円)
吉岡 和子 様
阿部 真美子 様 中野 沙恵 様
松本 伸子 様 宮川 三平 様
金子 清美 様
山田 友治 様
上坂真奈美 様 廣田真樹子 様
その他 二〇〇,〇〇〇円
岩間 奈緒美 様 高橋 英雄 様
(一、〇〇九、七六九円)
匿名希望者合計
合計 九六件 四、〇二〇、七六九円
累計 一四一件 九、四六五、二六九円

「聖徳大学香和会五十周年記念奨学基金」寄付者芳名一覽

平成三十年十一月から十二月までのご寄付分

- 大学後援会関係 一〇〇,〇〇〇円
水野 博文 様
香和会関係 三〇〇,〇〇〇円
長江 曜子 様
加藤 彰雲 様 六五冊
高橋 英雄 様 二二冊
匿名希望者 八件(一、〇一八冊)

「Seitoku古本募金」寄付者芳名一覽

平成三十年十二月までのご寄付分

- 累計 一〇件(一、〇五冊)
一九〇六四円

募金だより

聖徳祭 募金課企画

クリアファイル販売 売上報告



当日はファイ&リーンをはじめ、チーバくんも応援にかけつけてくれました。

募金課では第五十四回聖徳祭に参加し、オフィシャルキャラクター・ファイ&リーンのクリアファイルを販売しました。売上の二〇%を北海道胆振東部地震災害義援金として日本赤十字社を通じて寄付する今回の取り組みでは、多くの方にご協力いただきました。ここに深く感謝申し上げます。

クリアファイル売上
一九、五〇〇円
(うち二〇%の三、九〇〇円は日本赤十字社を通じて寄付しました。)

大学・短期大学部

後援会支部総会・保護者会 活動報告

後援会支部総会および保護者会は、北海道から九州・沖縄まで全国十一支部で毎年行っています。今年度は、六月から十一月にかけて各地で開催し、大学および短期大学部の多くの保護者が出席しました。



植村梨世さん

植村梨世さん(東京地区支部、平成三十年三月看護学部卒業)は、現在千葉県松戸健康福祉センターで保健師として勤務しています。大学入学前から保健師を目指しており、一年の時よりこつこつ勉強に励み、実習では患者に対する姿勢や一人ひとりの価値観の違いを学びました。公務員採用試験前は本学の図書館で閉館時間まで勉強をしたのみならず、キャリア支援課主催



鈴木恵理さん

の公務員試験対策講座にも出席し、大学の施設や講座等を大いに利用しました。植村さんは発表の最後に、「学生生活は時間があるようであまりないので自分とよく向き合ってください」と締めくくりました。鈴木恵理さん(千葉県支部、平成三十年三月人間栄養学部卒業)は、現在柏市内の学校で管理栄養士として勤務しています。在学中は、学科の授業や実習等で意欲的に学び、管理栄養士、栄養士、食品衛生管理者、食品衛生監視員、フードスペシャリストの五つの資格を取得しました。国家試験対策で

「聖徳フラッシュ」一〇〇号刊行 おめでとうございます
出版界には新刊雑誌を揄える「三号雑誌」という言葉があるように、継続的に刊行物を出すことはとても難しいといわれています。十八年の長きにわたって刊行に尽力されました歴代関係者の皆さまに衷心、敬意を表します。デジタル時代に、あえて紙媒体で出し続けるところに、「聖徳フラッシュ」のとても大事な意義があると思えます。デジタル時代には、広報の情報をインターネット経由でいわば「引き出して

「聖徳フラッシュ」一〇〇号刊行 おめでとうございます
いただく」ことになりました(PULL型)。しかし、聖徳学園と保護者を強く、深く結びつけるためには、学園側から積極的に「押しかけていく」メディア(PUSH H型)も求められています。「聖徳フラッシュ」は、二十世紀の最後の年に、「学園報保護者版(仮称)」として創刊されました。表紙には、タンポポの冠毛が飛び散る写真を背景に、「風を感じる。風をつくる。」聖徳は、建学の理念を礎に、二十一世紀の扉を開きます。」とあり



は、一人で黙々と勉強するだけではなく、友人と教え合いながら共に勉強することで、多角的な視野・視点を身に付けることができたこと、話を聞いていただきました。聖徳大学では、基礎をしっかりと学び、困ったときは教員と相談がしやすく充実した学生生活を送ることができたこと、最後には先輩に向けて「テーブルマナーや海外研修などで学んだことは、何気ないところで役立つことがあるので、ぜひ大学生のうちにとたくさんの経験をしてほしい」と語っていました。出席した保護者からは、「大変興味深い話だった」「娘のサポートの参考になった」「今後もぜひ続けてほしい」との声が多数寄せられています。

始まりの二つの号のこれらの言葉には、聖徳学園の教育への新たな決意と学園に集う子どもたちの健やかな成長への願いが込められています。紙媒体の強みを生かして次の一〇〇号を目指されることを期待しています。(館長 村山 隆雄)

平成31年度 大学院(春学期入学)入試日程

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講]
<博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 社会人入試, 内部推薦入試, 研究生入試.

※音楽文化研究科研究生入試については1日のみ実施する。

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 社会人特別入試, 内部推薦入試, 研究生入試, 私立留学生特別入試, 研究生(留学生)入試.

※音楽文化研究科研究生入試については1日のみ実施する。

<修士課程>(看護学研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 社会人特別入試, 内部推薦入試.

<専門職学位課程>(教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 社会人特別入試, 現職教員特別入試, 内部推薦入試.

★詳細は、各校の入学試験要項(募集要項)でご確認ください。

平成31年度 入試日程

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子) <AO入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 事前エントリー受付期間. Rows include AO入試, 大学・短大方式.

<社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 社会人特別入試, アスリート・セカンドキャリア支援特別奨学推薦入試, アスリート・サポート特別奨学推薦入試, 帰国子女特別入試.

<留学生入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 私立留学生特別入試, 私立留学生特別奨学生入試.

※編入学入試については、学士入試、社会人特別入試、アスリート・セカンドキャリア支援特別推薦入試も実施

<編入学・専攻科入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include 一般入試, 内部推薦入試, 一般入試.

<一般入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include センター試験利用入試, 一般入試, センター試験利用入試, 一般入試, センター試験利用入試, 一般入試, センター試験利用入試, 一般入試, 実技特別選抜入試.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子) <前期・後期入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Rows include AO入試, 指定校推薦入試, 公募推薦入試, 保育所・幼稚園園長推薦入試, 同窓会推薦入試, 大学生・短大生(含特修学校)特別入試, ダブルスクール特別入試, 社会人特別入試, 一般入試.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Rows include 中学, 第3回入試, 一般入試.

通信教育部(共学) 平成31年度 春学期生募集

お問い合わせ 047-365-1200(直通)

通信教育部では、平成31年度春学期生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。全国各地で説明会を実施しております。

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
● 児童学研究科 児童学専攻 [博士前期課程/博士後期課程]
● 聖徳大学 通信教育部
● 聖徳大学短期大学部 通信教育部

聖徳大学・短期大学部で 取得可能な免許・資格

- 大学・短大卒業資格
幼稚園 小学校 中学校(英語・国語・社会) 高等学校(英語・国語・地歴・公民・書道・福祉) 養護教諭
保育士 社会福祉士(受験資格) 精神保健福祉士(受験資格) 公認心理師(大学) 認定心理士 心理相談員(基礎資格)
児童福祉司 ※要実務1年 児童指導員 心理判定員・児童心理司 図書館司書 学芸員 社会福祉主事

春学期生願書受付期間

- ▶ 大学・短大 ~4月26日(金)【必着】 ※書類選考のみ
▶ 大学院(博士前期課程) ~2月26日(火)【必着】 ※3月3日(日)試験

聖徳大学主催入学説明会

※参加申込不要 ※入場無料

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間, 開催場所. Rows list various dates and locations for the admission explanation sessions.

合同入学説明会

※参加申込不要 ※入場無料

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間, 開催場所. Rows list dates and locations for the joint admission explanation sessions.

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで
(インターネット) https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第100号 発行人/川並弘純 編集/総務課

PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 19.2.1 re (15,4)

聖徳大学オープン・アカデミー(SOA)

オープニングセレモニーのご案内

第1部:講演

激変するメディア

~人をつなぐのか? 分断するのか?~

講師 小川 純子 氏 (NHK放送文化研究所 所長)

およそ1世紀前に誕生したラジオ放送、続いて開発された映像も届けるテレビ放送は、人々に共通の話題を伝え、時に共感や連帯感を生み、人をつなぐ役割を果たしてきました。しかし21世紀に入り、インターネット技術の発達やグローバル化の拡大が、従来のメディアを変容させています。国際競争激しい映像コンテンツ市場、劇的に変わりつつある人々のメディア接触の実態を、NHK放送文化研究所の調査研究を元にご紹介します。



第2部:音楽学部によるミニコンサート

つながる音楽

- 日時/平成31年4月20日(土) 13:00~(12:30開場)
■会場/聖徳大学 松戸キャンパス 川並香順記念講堂 ■参加費/無料
■申込み方法/生涯学習課へお電話または窓口にて受付。

■お申し込み・お問い合わせ先/生涯学習課 Tel:047-365-3601

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート

長野県佐久市春日2258-1

かすがの森

ご予約はお電話にて 電話:0267-52-2111
宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。
http://www.kasuganomori.com/

佐久スキーガーデン パラダ

写真提供:佐久市観光協会



営業期間 平成30年12月21日(金)~平成31年3月24日(日)
お問い合わせ先 0267-67-8100
※気象条件により変更になる場合があります。

日本唯一の高速道路(上信越自動車道)直結スキー場です。首都圏からのアクセスが抜群で、晴天率90%!毎日がスキー日和、お子さまや初心者にもスキーを楽しんでもらえる緩斜面中心の安全なゲレンデの佐久スキーガーデンパラダへ、ご家族皆様でお越しください。
また、「かすがの森」の宿泊とスキーリフト券がセットになったお得なスキーバックプランも販売中です。今年の冬は家族でスキー旅行を楽しんでみませんか。



セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般13-300726 13-ユ-300913